

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [8169]K-ras遺伝子変異解析(codon12,13) [研究検査]

受託開始日

- 平成21年2月23日(月)

K-ras遺伝子変異解析(codon12,13)

昨年、EGFR(上皮成長因子受容体)陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌を対象とした抗悪性腫瘍剤セツキシマブが承認・販売されました。これはEGFRを標的とするIgG1サブクラスのヒト/マウスキメラ型モノクローナル抗体で、EGFをはじめとするEGFRリガンドよりも高い親和性を持ちます。このためEGFRとEGFとの結合が阻害され、細胞内へのシグナル伝達を遮断することで腫瘍細胞の増殖を抑制します。

K-ras遺伝子領域に変異が生じると腫瘍細胞の増殖が抑制されず、変異型では野生型に比較し、奏効率が低いことが明らかにされています。

K-ras遺伝子変異解析はセツキシマブの治療効果予測因子として期待されています。

検査要項

項目コード	8169
検査項目名	K-ras遺伝子変異解析(codon12,13)
検体量/保存方法	未染色スライド 4~5枚(5 μ 薄切)／室温*1 新鮮組織 10mg(2mm角)／凍結(-70 $^{\circ}$ C)*2
提出容器	新鮮組織:滅菌スピッツ(容器番号27)
検査方法	ダイレクトシーケンス法
報告様式	codon 12変異:(-) or (+) codon 12配列:GAT or GTT codon 13変異:(-) or (+) codon 13配列:GAC (変異が(+))の場合に変異の配列を報告します。)
所要日数	6~12日
検査実施料	未収載*3
判断料	未収載
定価	30,000円
備考	*1:本検査は腫瘍組織の遺伝子検出を目的とします。正常組織と腫瘍組織との区別はできません。正常組織の比率が大きい場合は、遺伝子変異の検出ができない可能性があります。 未染色標本でのご依頼の際は、予め病理組織診断にて腫瘍部位をマーキングした染色スライドと未染スライドを併せてご提出下さい。 *2: 予め病理所見により、腫瘍組織が優位であることをご確認の上、ご提出下さい。 *3: D004悪性腫瘍遺伝子検査(2000点)は、膀胱癌ならびに肺癌組織を対象とした場合に算定が可能です。大腸癌を対象とした場合は現時点(2009年2月)では算定できません。

※上記以外の検体での測定を希望される場合は、予めご連絡下さい。

参考文献

Schubbert, S. et al. : Nat Rev Cancer. 7:563, 2007.

Ogino S. et al. : J Mol Diagn. 7:413-421, 2005.

Lievre A. et al. : J Clin Oncol. 26:374-379, 2008.

Amado RG et al. : J Clin Oncol. 26:1626-1634, 2008.